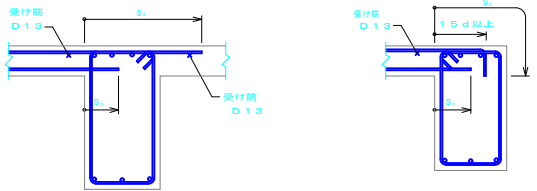


3 土木工事

3.18 床の配筋要領

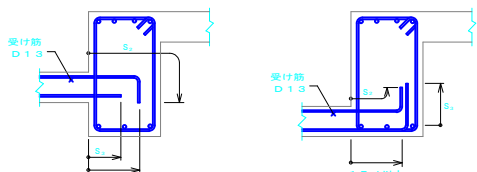
3.18.1 一般事項

- (1) 鉄筋の継手長さは、 S_1 とする。
- (2) ラーメン構造の床版の定着長さ及び受け筋は、3.18.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、3.18.2図、3.18.3図により梁内に定着する。
- なお、スラブ筋の場合は、3.18.1図～3.18.3図の定着長さ S_2 、 S_3 を、 S_4 と読み替える。
- (3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。図面になければ3.20.5図による。



3.18.1図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その1）

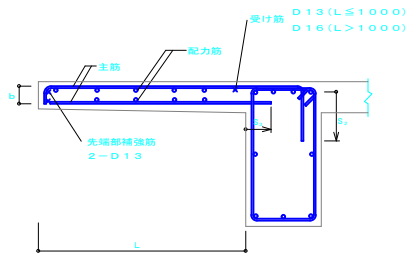
3.18.2図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その2）



3.18.3図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その3）

3.18.2 片持床版

(1) 片持床版の配筋



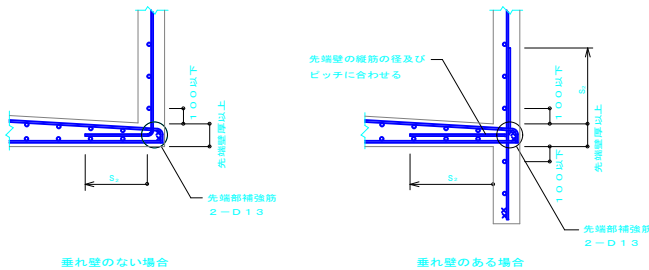
※片持スラブの場合は、3.18.4図及び3.18.6図の定着長さ S_2 、 S_3 を、 S_4 と読み替える。

※先端の折り曲げ長さ b は、片持部材の厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

※床版に段差のない場合は、主筋を引き通して床版またはスラブに定着してもよい。

3.18.4図 片持床版の配筋

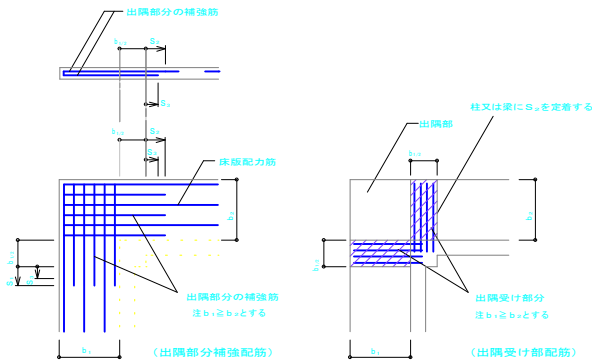
(2) 先端に小梁がなく壁に取り付く場合



3.18.5図 先端に壁が付く場合の配筋

3.18.3 出隅部の配筋方法

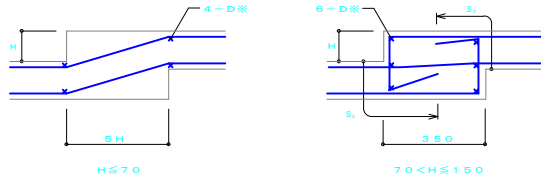
- (1) 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3.18.6図による。特記にない場合は、 $D13@100$ ダブル程度とする。
- (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅は $b_1/2$ とする)による。
- (3) 片持スラブの場合は、3.18.6図の定着長さ S_2 、 S_3 を、 S_4 と読み替える。



3.18.6図 片持床版出隅部の補強配筋

3.18.4 段差床版の補強

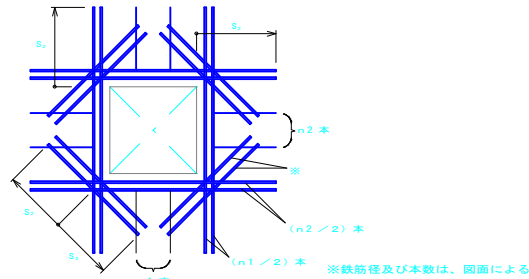
- (1) 同一床版に段差がある場合、3.18.7図の補強を行う。ただし、 $H>150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。
- (2) 段差スラブの場合は、3.18.7図の定着長さ S_2 、 S_3 を、 S_4 と読み替える。



3.18.7図 段差のある床版の補強配筋

3.18.5 床版及びスラブ開口部の補強

- (1) 開口の最大径 ≤ 700 の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する(3.18.8図)。
- 開口の最大径 > 700 の場合は図面による。

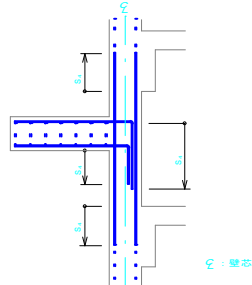


3.18.8図 床版及びスラブ開口部の補強配筋

- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋を出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3.19 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
- (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。



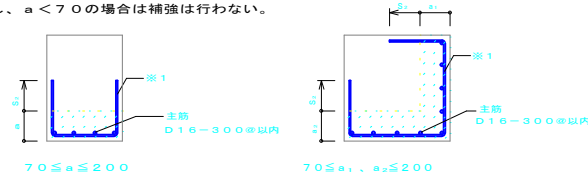
3.19.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

3.20 柱及び梁の増し打ち要領

3.20.1 柱

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.1図による。

ただし、 $a<70$ の場合は補強は行わない。



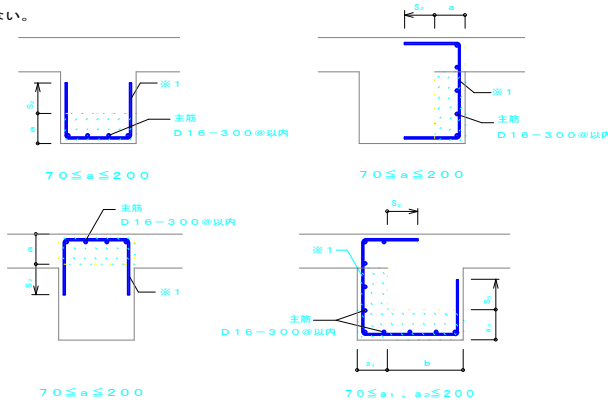
※1. 帯筋と同径・同ピッチとする。

3.20.1図 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 S_2 以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

3.20.2 梁

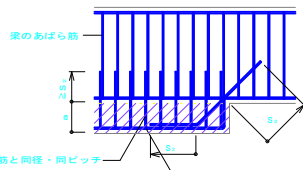
- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.2図による。ただし、 $a<70$ の場合、補強は行わない。



※1. あばら筋と同径・同ピッチとする。

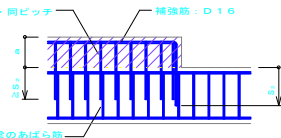
3.20.2図 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 S_2 以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.3図 梁の上下の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

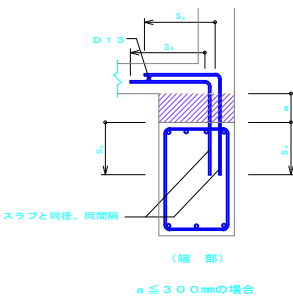
- (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

3.20.3 土間スラブの打継ぎ補強

- (1) 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。

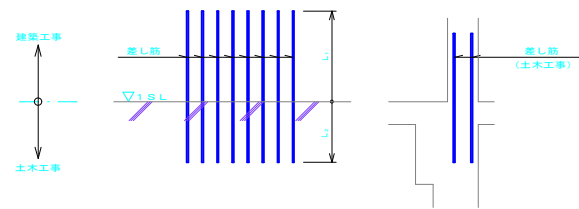


3.20.5図 土間スラブの打継ぎ補強配筋（ダブル）

3.21 土木部分と建築部分の取り合い

3.21.1 壁縦筋の取り合い

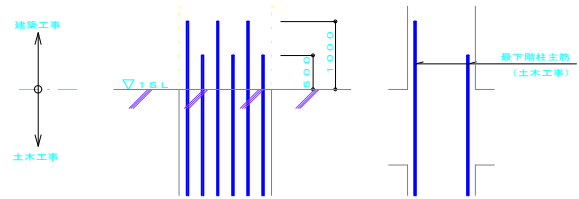
- (1) 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。（径は図面による）
- (2) L_1 及び L_2 は4.5.1表による。



3.21.1図 壁縦筋の取り合い差し筋

3.21.2 柱主筋の取り合い

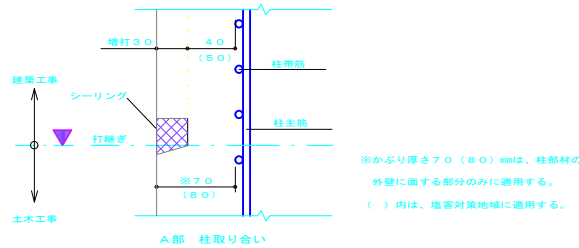
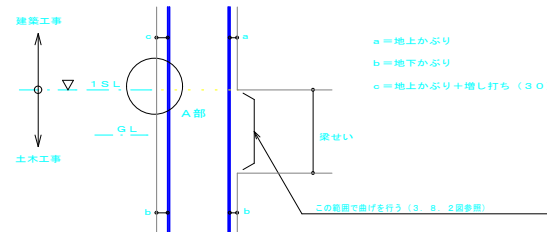
- (1) 最上部の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3.21.2図の圧接位置まで延ばすこと。



3.21.2図 柱主筋の取り合い差し筋

3.21.3 柱主筋かぶり厚の取り合い

- (1) 土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶりは、3.3.1表によらず、3.21.3図による。



3.21.3図 柱主筋かぶり厚の取り合い

事業名		南魚沼市上水道事業						
工事名		令和2年度 改良第7号 上田配水池建設工事						
施工地名		南魚沼市 蟹沢新田 地内						
構造細目共通図（複合構造物） (5)			縮 尺		図 示			
図面番号		工期		着手日	令和	年	月	日
第49/61号				竣工日	令和	年	月	日
発注者	南 魚 沼 市 長			監製員	総括 水道課 上村 栄二 主任 水道課 上村 優			
					(配意)			
請負者								